

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信
発行者 鈴木 諭

発行日 R元. 7. 24

号

試合結果 (夏季選手権・埼玉大会) 5回戦

7月23日 (火) ~市営大宮球場~

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
市立浦和	3	0	0	0	3	0	0	1	0	7
山村国際	0	0	5	1	0	4	0	1	×	11

5回戦・・・毎年、埼玉県では勝ち残っているすべての学校が登場する1日となっています。(それだけ残っている学校が少なくなった・・・ということ) その1つの目標地点に市高は辿り着くことができました。

同じく16強・・・技術的にはまったくそのような力を持っていないのに、県内16強に食い込むことができました。「普通科のみの公立高校」という分類にすれば、残ったのは鴻巣高校と市高のみという形になりました。(私立の圧倒的な力、公立でも普通科以外の科を持つ学校が強いという現実)

選手は持てる力のすべてを出し切ってくれました。でも勝利には届かなかった・・・という結果でした。このような乱戦(点の取り合い)での敗退は監督として大変苦しいものがあります。(あの時の投手交代、代打起用、作戦采配など・・・監督として(自分の采配次第で)その乱戦の流れをこちらに持ってくるのができないのではないか・・・などと考えてしまうからです。

3年生部員(選手9名・マネ3名)お疲れ様でした。(マネはこの後、決勝戦終了まで県営球場での任務(補助員)がありますが・・・)君達と過ごした夏の5試合は、私にとっても忘れられないものとなりました。人生は野球がすべてではありません。この経験を今後の人生に活かしてください。

1・2年生部員(選手23名・マネ5名)、今この時から君達の代がスタートします。この日の試合後、観戦していた方から指摘された厳しい言葉をあえて載せます。

「1・3年生は頑張っているのに、たくさん出場している2年生が全然働いていないよなあ・・・働いていたの9番バッターぐらいでしょ・・・」

いつも言っているように評価とは「他人」がするものです。2年生部員がこの評価をどう感じ、どういう取り組みをしてくれるかを楽しみにしています。

この日も市高スタンドは大応援団でした。5試合本当にありがとうございました。

大会の様子

